



あいじつ



開校141周年

心のゆとり

副校長 原島 謙一

9月12日に解除される予定であった緊急事態宣言も30日まで延長されることになり、予定していた学校公開もオンライン授業を実施せざるを得ない状況となりました。保護者の方々のご理解とご協力に感謝いたします。

このようなコロナ禍ですが、私たち大人も心のゆとりがなくなっているように感じます。せめて私たち大人が心にゆとりをもちたいものです。

例えば、子どもがコップに入ったジュースをこぼしてしまった時、どのように声をかけるかによって子どもの気持ちが変わってくるのではないのでしょうか。

○「あと半分しかないじゃない。」

○「あと半分もあるね。」

子どもがそのあと、残ったジュースを飲むとき、どんな気持ちになるか想像してください。日常生活の中でゆとりを考えると、「時間のゆとり」「経済的なゆとり」などが考えられます。しかし、同じ時間と同じお金を与えてもそれに対して全ての人が「同じ満足」を感じるとは限りません。同じ現象でも捉え方は一人ひとり感じ方が違うのです。

「忙しい」という字は「心を亡くす」と書きます。私たち大人の仕事はもしかしたら忙しさの連続です。そう考えると私たちもいつの間にか「心のゆとり」を失ってしまっているのではないのでしょうか。ゆとりがない時の自分を振り返ってみると、意識が自分のことだけに集中し、周囲のことまで考える余裕がなくなってきました。また、視野も狭くなり他人に無関心になったり自分の都合を押し通そうとしたりすることになってしまいます。

コロナ禍ではありますが、何をするにもよい季節になってきましたので、私たち大人が「心にゆとり」をもって子どもたちにかかわっていかうと思います。

体力向上に向けた運動週間

体育担当

9月15日から28日までが「短なわ週間」でした。各学年に応じた初級、中級、上級、特級の技に挑戦しています。下学年は「前とび」からスタートし、「後ろとび」「かけあしとび」などを連続して跳ぶことができるように、上学年は基本的な技に加え、中級・上級の技をリズムよく連続して跳ぶことに挑戦します。

体育の時間や休み時間を活用して、技を友達と教え合ったり、自分の記録に挑戦してみたりと自ら主体的に楽しみながら短なわに取り組む姿が数多く見られました。

「短なわ週間」以降も体力の向上を目指し、意欲的に取り組むことのできる運動週間にし、子供たちの体力向上を目指す取り組みを行っていきます。

ICTを活用した教育の推進

ICT担当

今年度から GIGA スクール構想として1人1台タブレットが配布されました。

教員も初めての端末操作ということもあり、慣れるところから始まりました。一方、子供たちはすごいもので、大人よりも早いスピードで操作に慣れていきました。子供たちから教えてもらうこともしばしばあります。先月には初めてリモート授業を行いました。離れたところでの授業は、みんなが初挑戦だったと思いますが、楽しい授業になったと思います。これからも活用の幅を広げていきたいと思っています。

現代では多くの情報を取捨選択し、利用する力が必要になります。情報とどのように付き合っていくかを子供たちと共に考えていながら、力を身に付けさせていきたいと思っています。

10月の行事予定

※予定が変更になる場合は、その都度お知らせします。

日	曜	朝	学校行事
1	金	学習	都民の日・安全指導・クラブ活動
2	土		
3	日		
4	月	朝会	委員会
5	火	読書	
6	水	児童	
7	木	学習	
8	金	学習	前期（終）
9	土		
10	日		
11	月	朝会	後期（始）、避難訓練、 教育実習（始）
12	火	読書	
13	水	児童	
14	木	学習	
15	金	学習	
16	土		
17	日		
18	月	朝会	
19	火	読書	下水道出前授業（4年）
20	水	児童	
21	木	学習	就学時健診
22	金	学習	教育実習（終）
23	土		
24	日		
25	月	朝会	クラブ活動
26	火	読書	
27	水	児童	校内研究
28	木	学習	
29	金	学習	
30	土		
31	日		

伝統的工芸品「江戸木版画」を学んで～6年生～

図工専科

9月17日に職人さんをお迎えして江戸木版画について学習しました。

映像での職人さんが細かい絵柄を彫る技術力の高さや様々な道具に児童は見入っていました。

その後、うちわ作りを通して多色刷りを体験しました。絵柄が少しずれてしまったり、インクが他の場所に付いてしまったり、刷りの難しさを実感していました。

「上手く刷れなくても、あなたが刷った絵柄は世界に一つだけのうちわですよ。」との職人さんからかけられた言葉が印象に残っていると伝えてくれた児童もいました。

江戸時代から続く伝統を受け継ぐ職人さんの姿を通して多くのことを学ばせていただきました。

環境について考える

環境担当

「銚子から高校生が流したガラス瓶、37年後に9歳少女がハワイで発見。」という記事に触れ、多くのことを考えさせられました。

宇宙から見れば地球上に国境線は引かれていません。「地球という1つの星に様々な背景の人々と共に暮らしているのだ。みんな繋がっているのだ。」そんなことを改めて実感させられました。さて、目の前の事に目を向けてみましょう。今、わたしたちにできる事とは一体何でしょうか。本校では、緑のカーテン、屋上緑化、各学年でのエネルギー削減に向けた取り組み等を行っています。地球規模で考えればささいな事かもしれません。でも、それがたくさん集まると、大きな潮流となっていくことでしょう。子どもたちが、これからも安心して暮らしていけるよう持続可能社会の実現に向けて、一人ひとりの責任で、私たちの美しい惑星を守っていきたくいですね。一人の地球人として。大切に。

毎週火曜日（原則） 都スクールカウンセラー来校日
毎週月・金曜日（原則） 区スクールカウンセラー来校日

ホームページを開設しています。

<http://www.shinjuku.ed.jp/es-aijitsu/index.html>

10月の目標

生活 すすんで仕事をしよう。
言葉 「はい。」という元気な返事